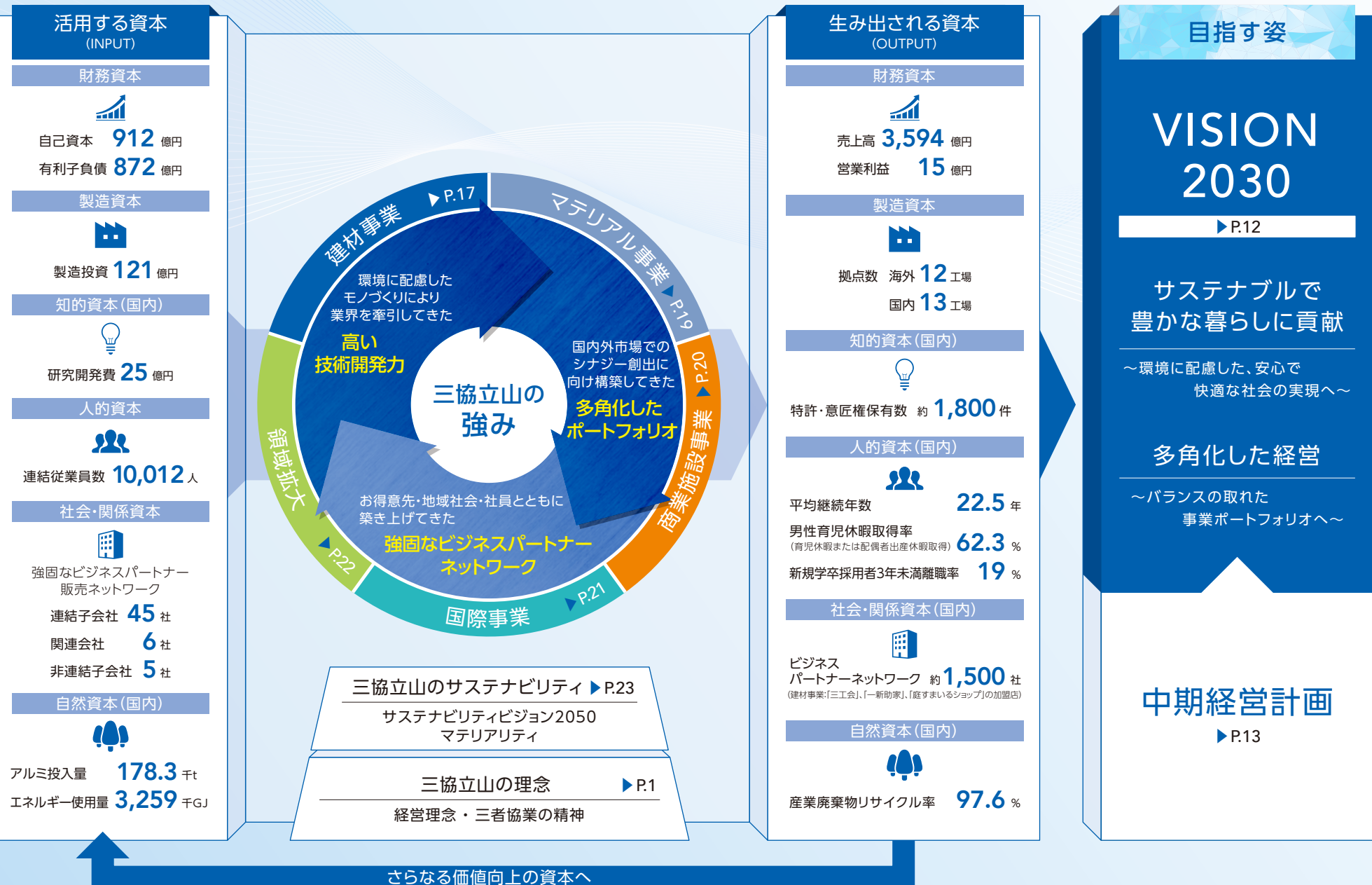


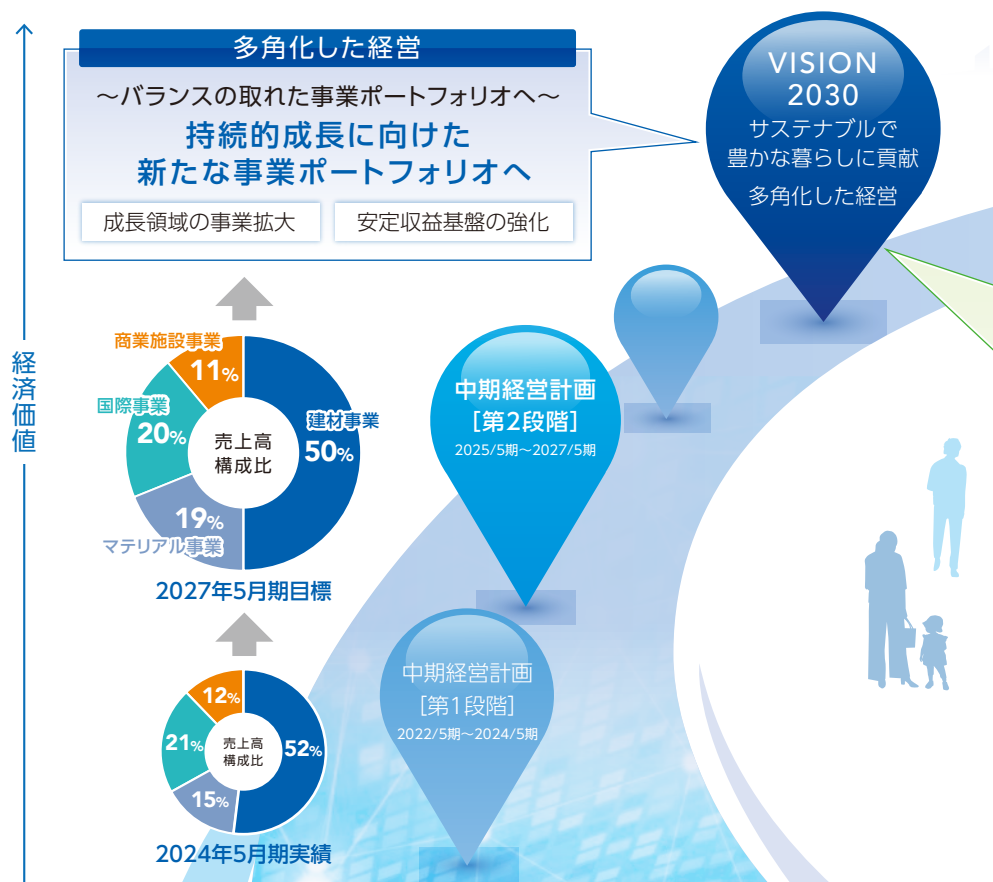
三協立山グループの価値創造プロセス



三協立山グループの長期ロードマップ

2050年に向けて、自社の経営理念・これまでの取り組み（強み）から、三協立山グループが長期的に目指す方向として、『サステナビリティビジョン2050』を策定し、2030年度目標を設定いたしました。

VISION2030に向け、「環境にやさしく」、「安心な社会へ」、「暮らしを快適に」を軸とし、各事業活動を通じて魅力ある価値を創造するとともに、市場の変化に柔軟に対応できる経営基盤を構築し、持続可能で豊かな暮らしを実現する企業を目指してまいります。



サステナビリティビジョン2050 Life with Green Technology

～「環境技術でひろく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

カーボンニュートラルへの挑戦

資源の循環

人財を未来へつなぐ

サステナブルで豊かな暮らしに貢献

～環境に配慮した、安心で快適な社会の実現へ～

環境にやさしく

- CO₂排出の削減
- アルミなどの資源循環

安心な社会へ

- 社会インフラの維持・更新・強化
- デジタル化への対応

暮らしを快適に

- さらなる使いやすさ・空間の心地よさの追求
- 多様な生活・働き方への対応

2030年度目標

温室効果ガス排出量

Scope1+2 **50%減**
(2017年度比)

Scope3 **25%減**
(2022年度比)

対象：三協立山グループ

建材向け
アルミリサイクル率

80%

課題の対応により100%を目指す

女性管理職比率

10%

※1 自社での燃料の使用に伴う直接排出

※2 自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出

※3 自社の事業活動の上流および下流のプロセスでの排出

※1 個別製品ごとの指標を表すものではありません

※2 対象とする拠点は、国内製造拠点

※3 社内の製造工程で生じた端材を含みます

社会的価値